

令和4年度 品川区予算が成立

令和4年第1回定例会において、今年度の品川区予算案が可決成立しました。主な施策を紹介します。

品川区議会
公明党

会派報告

令和4年 春号

●発行:品川区議会公明党 幹事長:若林ひろき
●〒140-8715 品川区広町2-1-36
TEL 03(5742)6817
FAX 03(3774)3366

品川区 ゼロカーボンシティ宣言にむけて

品川区は、脱炭素社会を実現するため2050年までにCO²排出を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を今年度中に宣言する予定です。地球温暖化対策のために具体的に施策を進めていきます。



脱プラスチック ストローの 取組を強化

事業者によるプラスチック廃棄物の発生を抑制するため、2022年4月1日からプラスチック資源循環促進法が施行されました。都内の学校給食では牛乳パックのストローレス化が進んでいます。品川区の学校給食に牛乳パックを納めている事業者にも、脱プラスチックストローを働きかけていきます。

環境学習交流施設 「エコルとごし」

5月 オープン

環境について楽しみながら学ぶことができる施設「エコルとごし」が、戸越公園内にオープン。都内公共建築物で初となるNealyZEB認証^{※1}を取得し、脱炭素社会に向けた区民の意識向上を醸成するための様々な企画・展示を実施します。



▲エコルとごし

※1…年間のエネルギー消費量を省エネ・創エネにより25%以下まで削減した建築物



食品ロス の削減

国連のSDGsに掲げられる「食品ロス」。日本人一人当たりが毎日お茶碗一杯分に相当する量を捨てています。

食品ロス削減と普及啓発のため、「もったいない推進店」の認定を継続して行います。また、未利用食品の活用として、フードドライブをイベント開催時に行い、区内の子ども食堂の運営に役立てます。

新型コロナ感染拡大防止

新型コロナ 克服へ 中小事業者を 支援します

● 融資あっ旋・借換専用資金

未だ状況が改善しない中小事業者に更なる資金調達の支援に加えて、借換専用資金による返済猶予や経営改善計画の策定を支援します。

● 新分野展開や業態転換の費用助成

コロナ禍における新しい生活様式に対応した新分野展開・業態転換等にかかる費用を助成します。

● 新型コロナ感染症対応特別助成

販路拡大などコロナ禍からの事業回復を図る広告費、企業PR動画の作成経費、非対面・非接触サービス等の導入経費を助成します。

【問合せ】中小企業支援係 ☎03-5498-6341 9:00~17:00 平日のみ



ワクチン 接種の推進 感染拡大を 防止

新型コロナの感染拡大防止と重症化予防のため3回目のワクチン接種を進めます。区が運営する集団接種会場（大井競馬場・旧荏原第四中学校・旧リボン旗の台）では、予約なしでの接種も実施しています。

また、5~11歳のワクチン接種も実施しています。大人とは別の接種会場になります。

詳細はコールセンターへ問合せ下さい。

【問合せ】品川区ワクチン接種コールセンター ☎03-6633-2433
Fax 03-6684-4845 9:00~19:00 土日・祝日可



令和5年度 高校生の 医療費 無償化へ

東京都は令和5年度から医療費無償化の対象を高校生まで拡大する方針を示しました。品川区では、これまで高校生の入院費を無償化していましたが、今回の都の方針を受け、令和5年度から高校生の医療費無償化を実施するため、今年度中に必要となるシステムの改修を進めます。

主な施策

「市民科」教科書をデジタル化!

デジタル教科書は、読み書きが苦手な障がいのある児童・生徒の学習意欲の向上にもつながることが期待できます。児童・生徒一人一人のタブレット端末にインストールすることで、教室だけではなく、家庭や屋外でも教科書を活用した学習が可能となります。



子ども食堂を支援

年々増加する子ども食堂およびネットワーク会員（企業を含む）に対し、スムーズな運営を支援するとともに子ども食堂の運営費を補助します。また、子ども食堂の開設支援や維持運営に向けた情報交換、ボランティア団体の斡旋により子ども食堂が継続して活動できるよう支援します。

3歳児健康診査の視覚検査に フォトスクリーナー導入

これまでの視力検査（各家庭で行う絵カードを使用した検査）では、弱視・遠視・乱視等、特に片眼の視覚異常が見逃される可能性があることから、自動判定機能付きフォトスクリーナーによる屈折検査を実施して視力異常の早期発見・治療につなげます。※秋以降実施予定



フォトスクリーナー

公園でボルダリング!

区役所前の「しながわ中央公園」にボルダリングウォールが整備され、競技の体験や練習、学校や地域のイベントなど、気軽に楽しめる施設として活用されます。



イメージ

ヤングケアラーを支援

ヤングケアラー（大人のかわりに家族の家事や介護等の世話をする18歳未満の子どもたち）の実態把握や調査を行い、関係機関職員を広く対象とした研修等を実施して、支援策を検討します。

新しい防災ラジオを販売

防災行政無線のデジタル波移行に伴い、平成24年度に販売した防災ラジオは、令和6年12月から自動起動しなくなります。防災行政無線の緊急情報を自動起動で受信する新たな防災ラジオを、当時の購入世帯を対象に販売します。申込者へは本年6月以降に配送予定です。



新防災ラジオ

子宮頸がんワクチン接種

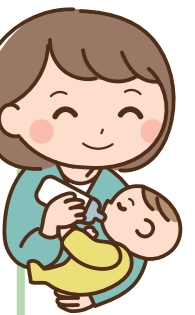
子宮頸がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐHPVワクチン接種を個別に呼びかける「積極的勧奨」が、4月から9年ぶりに再開されました。

	定期予防接種	勧奨差し控えて接種機会を逃した方
対象者	小学校6年生から 高校1年生相当の女性	平成9年4月2日(25歳)～平成18年4月1日(16歳)生まれの女性
接種期間	高校1年生の 3月31日まで	令和4年4月1日から 令和7年3月31日
予診票 発送	3月29日に 発送済み	6月末から発送予定(6月までに接種を希望される方は、下記までお問合せください)

お問い合わせ先：品川区保健所 保健予防課（区役所7階）
電話 03-5742-9152 FAX03-5742-9158

ベビーシッターの 一時預かり利用料 を一部助成

日常生活の突発的な事情やリフレッシュ等の目的で、一時的にベビーシッターを利用した際に、その利用料の一部を助成します。対象者は区民で、0～5歳児の保護者。多胎児（双子など）の場合は、利用時間を拡充します。助成申請は、対象月（3ヶ月）ごととなり、年度で4回の予定です。



自転車活用推進計画 の調査・策定

令和3年度に国と東京都がそれぞれ「自転車活用推進計画」を改定したことを踏まえ、品川区での自転車活用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため「自転車活用推進計画」を策定します。本年度、調査を実施、骨子案を作成し、令和5年度に公表予定です。

シニア世代の スマホデビューを支援

シニア世代がスマートフォンに対して抱く「興味はあるが難しく使えないかも」といった不安感を払しょくし、スマホを気軽に活用できるよう支援します。※夏以降に実施予定。

スマホ体験教室

対象	60歳以上で、スマホを持っていないかほとんど使っていない方
内容	貸出機器で電源の入れ方・メール・電話・ネット検索など基本操作

スマホよるず相談

対象	60歳以上で、スマホに関する疑問等を相談したい方
内容	操作方法などをマンツーマンで気軽に相談

都内初! 認知症ミーティング センター(仮称)を開設

認知症本人の周辺症状の改善やQOL(生活の質)の向上、また介護者の介護肯定感の向上など、さらなる在宅生活の安定と継続を図るため、グループホームなど3ヶ所に認知症ミーティングセンター(仮称)を開設します。本年7月に開設予定です。

コンテナ型喫煙所を整備

9カ所ある区指定喫煙所は、パーテーションで仕切られるなどしていますが、煙や臭いは喫煙エリア外に流れてしまいます。歩行者に不快な思いをさせないよう密閉された空間の喫煙コンテナを整備します。4月に、区内初となるコンテナ型喫煙所が大崎駅東口に設置され、さらに1カ所、設置します。



大崎駅東口の
コンテナ型喫煙所

小学校での 特別支援教育を強化

小学校と義務教育学校（前期課程）に発達障害教育支援員を常勤で配置して、通常学級に在籍する発達障害のある児童の支援をさらに充実していきます。全校への配置に向けて、今年度はモデル校5校に配置して事業の効果を検証します。

「しなみちレポート」 を本格導入

道路の損傷や不具合を、スマホアプリ(マイシティレポート<MCR>【市民協働投稿サービス】)を活用して区民に投稿してもらい、区に調査・補修を依頼する「しなみちレポート」が本格的にスタートします。併せて、公園に関する投稿も試行運用がスタートします。

高齢者やひとり親家庭など 賃貸住宅探しを支援

住宅確保要配慮者（住居確保に配慮が必要な高齢者・障がい者・ひとり親家庭・低額所得者）は、入居拒否や家賃が高い等、自分で住まいを探すことに困難があるため、区が不動産業者の物件をあっ旋して賃貸住宅探しを支援します。又、住宅確保要配慮者と賃貸契約を締結した大家さんと仲介した不動産業には協力金を支給します。



▲詳細はこちら

令和4年第1回定例会 区議会公明党の議会質問から

代表質問・一般質問

Q 新型コロナに感染した自宅療養者への医療提供(品川モデル)の現状は。

A 1月はオンライン診療70件、薬剤配送65件、往診4件であった。入院が必要な場合に備え、病院にバックベッドを確保している。

Q ベビーシッター一時預かり事業の活用を繰り返し求めてきた。来年度の利用助成内容などは。

A 一時間当たり2,500円、深夜帯は3,500円を上限に利用料の一部を補助する。利用者は多胎児家庭も含め170人程度と見込み、想定を上回る際は、補正予算等の措置を検討する。

Q 食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業を活用し、ポイント制度を創設しては。

A 脱炭素型の生活習慣への転換につながる仕組みづくりについて、ポイント制度を含め検討する。



Q 児童発達相談機能の強化を。

A 2か所目の児童発達支援センターを開設するための検討を行う予定で、大原児童センターを候補と考えている。

Q 気候変動問題や地域の環境などについて、子どもたちが協議できる場として(仮称)品川青年環境未来会議を開催しては。

A 環境活動推進会議の活動も踏まえ、子どもたちが協議できる場を検討する。

Q 都が令和5年度に予定する高校生医療費助成への積極的対応を。

A 都は、23区等の準備経費補助に7億円を計上した。区として、事業実施に向け積極的に検討する。

Q 高齢者、子育て世帯などへの家賃低廉化支援を。

A 区が取組として、セーフティーネット住宅制度を含めた新たな支援制度を検討する。



令和4年度予算特別委員会 総括質疑

Q 品川区地域活動課の中に、「八潮まちづくり担当」が新設され、会議体が設置される。会議体の構成と、庁内の体制を聞く。また、若い世代の声が反映されるよう要望する。

A 八潮地区の方を中心に構成する「八潮まちづくり懇談会」と区の部課長で構成する「八潮まちづくり庁内検討会」の2つを設置し、若い方の意見を聞けるよう八潮学園のPTAに参加してもらう予定。

Q 学校トイレの洋式化の更なる推進と、防災・バリアフリー・性的マイノリティへの配慮から学校への多目的トイレの設置推進を求める。

A 令和9年度に洋式化率90%の達成を見込んでいるが、達成後も更に推進していく。また、学校改築の際に多目的トイレの設置も推進する。



Q プラスチック削減の観点から、令和4年度より都内18市区町村で学校給食の牛乳にストローレス容器を導入するが、品川区への早期導入を強く求める。

A 東京都が乳業メーカーを各市区町村に割り当てているため、都と連携しながらストローレス導入をメーカーに強く働きかけていく。

Q コロナ禍に苦しむ事業者向けの国や都の各種支援金・協力金・融資等の煩雑な申請事務を支援するため、行政書士等の専門家の活用を求める。

A 現行の「ビジネス・カタリスト派遣事業」を拡充し、行政書士等の専門家の活用を図っていく。

Q 食品ロス削減は、子どもから家庭での取組が広がるという視点で、生ごみの水絞り、食品ロス削減など小学生でもわかるよう、動画や漫画などでの啓発を提案する。

A 小学生に向けた啓発については、冊子よりも動画や漫画による啓発のほうが関心も高くなると考える。今後検討していく。



～ウクライナを支援～

ウクライナへの支援やロシア連邦に対する抗議など(品川区HP)▶



2月24日からロシアがウクライナへ侵略を開始し、ウクライナは想像を絶する被害を受け、多くの支援を必要としています。

品川区役所はウクライナから避難してきた人たちの受け入れや生活に関する相談窓口(☎03-5742-6691 8:30~17:15平日のみ)を設置しています。

また、ウクライナの首都キーフの芸術学校の子どもたちが平和のメッセージを込めて描いた絵「キッズゲルニカ」を区役所第3階ロビーで3月31日まで展示。4月16日と17日には、ウクライナ出身のアーティスト テティアナ・ソロツカさんを招き、ウクライナの伝統文化と戦禍の現状についてトークイベントを開催してウクライナへの支援を広げています。

※3月7日 品川区議会はロシアの侵略行為に抗議する文書を決議し、即日、駐日ロシア大使館に郵送しました。同日、品川区も抗議文を同大使館に送付しました。



◀ウクライナの子どもたちの「キッズ・ゲルニカ」



◀ウクライナの伝統工芸品と戦禍の写真

公明党の区議会議員



若林ひろき



たけうち 忍



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org